

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立浦和特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	目指す学校像に「主体的に生きる力を育み」を掲げるなど、児童生徒、保護者や地域の期待に応えようとするものとなっている。学校の置かれた状況や課題をより広く把握・分析し、更に具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	今年度、4本目の柱として「進路指導・キャリア教育の充実」が加えられ、児童生徒の実態を踏まえた重点目標が設定されている。学校内外の環境分析などを踏まえ、中期的視点から、今後も更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校自己評価システムを運営する組織が明確に位置付けられ、小中高一貫したキャリア教育を行うための研修が行われるなど、重点目標を踏まえた取組が進められている。評価項目が本年度重点的に取り組むものとしては分かりにくいので、より重点化して具体性のあるものに工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策を設定するに当たり、職員会議などで教職員間の共通理解が図られている。評価指標がやや抽象的であるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、誰が、何を、いつまでに、何回といった視点で取組指標を取り入れるなどして、教職員間でその達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的・有機的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、課題の共通理解を図っている。前年度の達成状況の検証を適切に行い、課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなる各種アンケートを工夫するとともに十分活用し、次年度の取組につなげてスパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			